

第4学年 音楽科学習指導案

場 所 2階音楽室

児 童 男18名 女18名 計36名

指導者 一井彩来

1 題材名

せんりつのとくちょうを感じ取ろう〈A表現・器楽 B鑑賞〉

2 児童について

児童は、これまでに「明るい歌声をひびかせよう」「拍にのってリズムを感じ取ろう」の題材の学習をしてきた。初めて聴いた曲について感じたことを漠然とした言葉で表し、これからの音楽活動に思いをもつことで、課題を見だし、「歌ってみたい」「聴いてみたい」といった思いを原動力として、音楽活動を重ねてきた。器楽の学習では、曲の特徴を意識して聴こうとしたり、感じ取ったことや想像したことを伝え合い、それを生かして演奏を工夫したりするようになってきた。そこで、旋律の特徴の違いを捉え、音色や奏法に着目しながら演奏したり、味わって聴いたりすることで、さらに豊かな表現につなげられるようになるのではないかと考える。

3 題材の指導構想

(1) 題材について

本題材は、新学習指導要領A表現(2)器楽、B鑑賞に関わる内容である。器楽曲として、「陽気な船長」、「せいじゃの行進」を取り扱う。また、鑑賞では、「動物の謝肉祭」より「白鳥」「堂々たるライオンの行進」(サン＝サーンス作曲)を取り扱う。

本題材は、3・4年生で旋律の特徴について、系統立てて学習していくものである。3年生では、旋律の音の上がり下がりやリズムに気を付けて演奏したり、聴いたりする学習をしてきた。鑑賞の学習では、歌唱の学習を生かして旋律の特徴が生み出す曲想を感じ取り、楽曲のよさを考えたりしてきた。器楽の学習で取り扱う2曲は、旋律の音の上がり下がりやスタッカートなどの旋律の特徴と曲の感じとの関わりを捉えやすい曲である。そこで、聴き取った旋律の特徴を生かした表現の仕方を、リコーダーの演奏を通して、考えていくようにする。その際、奏法による音色の違いにも触れながら、言葉だけでなく、音や音楽で伝え合うことで、考えを深めていくことができると考える。鑑賞の学習で取り扱う2曲は、旋律の特徴や楽器の音色によって生み出される曲想を感じ取りやすく、比較聴取することで、白鳥が美しく泳いでいる様子や堂々とライオンが行進している様子など、様子を思い浮かべやすい楽曲である。そこで、部分的に聴く、全体を通して聴くなどの活動を通して、自分の思い浮かべた様子を友達と交流して考えを取り入れたり、深めたりすることで、旋律の特徴や音色の美しさによる曲のよさを実感していくことができると考える。

以上のことから、本題材において、初めに聴いて抱いた思いや願いを基に、言葉だけでなく、音や音楽で考えを交流し、旋律の特徴を生かして奏法による音色の違いを考えて演奏したり、器楽の学習を生かして楽曲のよさを聴き味わったりすることで、様々な音や音楽と積極的に関わり、自分の表現、聴き方、技能、心情の音楽的な成長が図られ、音楽の価値を実感することをゴールとする。

(2) 指導にあたって

児童の深い学びの姿を次のように捉え、その実現に向けて、以下のような手立てをとる。

<p><育てたい資質・能力></p> <p>(A表現・器楽)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 曲想と音楽の構造との関わりに気付くこと・ 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりに気付くこと 【知・技】・ 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能・音色や響きに気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏する技能・互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けること 【知・技】・ 曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと 【思・判・表】・ 旋律の特徴に興味をもち、友達と演奏する楽しさを感じながら、旋律の特徴にふさわしい表現を考える経験を自分の生活に生かそうとすること 【学】 <p>(B鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりに気付くこと 【知】・ 曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと 【思・判・表】・ 聴く活動に進んで取り組み、友達と聴いたり、考えを交流したりする楽しさを感じながら、比較聴取したり、旋律の特徴に着目したりして味わって聴くこと 【学】 <p>(共通事項)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 音楽を形づくっている要素及びそれらにかかわる音符、休符、記号や用語と音楽における働きと関わりについて考えること 【知】・ 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことを感じ取ったこととの関わりについて考えること 【思・判・表】	<p><深い学びの姿></p> <ul style="list-style-type: none">・ 旋律の特徴を感じ取り、その特徴を生かしながらリコーダーを演奏したり曲のよさを味わって聴いたりする姿
--	---

視点1 深い学びを実現する題材構成

- 題材の中で働かせる見方・考え方（本題材に関わる音を形づくっている要素である音色・速度・旋律・音の重なり・反復・自己のイメージや感情、生活や文化との関連）を明らかにし、指導計画に位置付けることで、旋律の特徴についての深まりを実感できるようにしていく。
- 記録ノートを活用し、一つの題材で学習したことを視覚的に捉えることで、旋律の特徴を基にどのように演奏したり、味わって聴いたりしたらよいか捉えることができるようにする。
- 新しく学んだことを身の回りで生かすことができそうか、生活の中の豊かな音楽表現について話し合うことで、身近な生活の中に音を楽しむ工夫がなされていることに気付くことができるようにする。

視点2 問題解決的な学習展開の充実

(1) 主体的な学びを促す手立て

- ・ 旋律の特徴の違いに気付くことができるように、一部分だけ曲を聴かせたり、曲同士を比べたりすることで、興味をもって曲を聴くことができるようにする。(主①)
- ・ 旋律の特徴とそれによって生み出される感じ方を整理して板書に位置付けたり、体で表現したりすることで、曲想を感じ取りながら音楽から喚起される自己のイメージと旋律の特徴や音色との関わりについて理解を深め、曲想にふさわしい表現を考えるための意欲につなげられるようにする。(主②)
- ・ 旋律の特徴に着目しながらその時間に学んだことについて振り返り、交流することで、次への学びにつなげられるようにする。(主③)

(2) 対話的な学びを促す手立て

- ・ ペアやグループで聴き合ったり、どのように旋律の特徴にふさわしい表現をするかについて音や音楽で確かめながら言葉でも表現したりすることで、実感を伴った学びへとつながられるようにする。(対①)
- ・ ペアやグループで得た考えを全体で交流し、感じ取ったことと聴き取ったことを結び付けることで、新たに自分の考えや表現につなげられるようにする。(対②)
- ・ 自分の考えと比較しながら作曲者の思いと向き合う場面を設けることで、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(対③)

4 題材の指導計画

(1) 目標

- ・ 旋律の特徴を感じ取ったり、聴き取ったりしながら表現している。 【知・技】
- ・ 旋律の特徴について自分なりの考えをもち、表現するための思いや意図をもったり、自分にとっての音楽のよさや面白さを見だし、味わって聴いたりしている。 【思・判・表】
- ・ 旋律の特徴を生かした音楽に興味・関心をもち、楽しんで演奏したり鑑賞したりしている。 【態】

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 曲想と旋律の特徴などとの関わりについて理解している。 ② 旋律の特徴を感じ取り、それを生かした音色で演奏するための奏法でリコーダーを演奏している。	① 旋律の特徴を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、思いや意図をもって旋律の特徴を生かした音色や奏法での表現を工夫している。 ② 曲想とその変化や旋律の特徴など音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを感じ取って聴いている。	① 旋律の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する学習活動に進んで取り組もうとしている。 ② 楽器の音色、旋律の特徴が醸し出す曲想とその変化を感じ取って聴く学習活動に進んで取り組もうとしている。

(3) 指導計画 (8時間)

段階	時	主な学習活動	指導の手立て	評価規準 (評価方法)
問題の把握 第一次	1	◎ 旋律の特徴や曲のまとまりを感じ取り、演奏する。 ・ 「陽気な船長」を聴いて、アとイの旋律の違いに気付く。	主① 対①	・ 旋律の特徴についてふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態①→発言、観察】
	2 本時	◎ 重なり合う響きを感じ取りながら、旋律の特徴を生かして演奏する。	主③ 対①	・ 旋律の特徴のよさや面白さを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫している。 【思①→発言、ノート】
	3	◎ 旋律の特徴による曲想を生かした演奏を工夫する。 ・ 「せいじゃの行進」を聴いて、旋律の特徴をつかみ、演奏の仕方を工夫する。	主③	・ 旋律の特徴を感じ取り、曲想にふさわしい表現でリコーダー演奏している。 【知①②→ノート、演奏聴取】
せんりつのとくちょうを感じ取ろう				
第二問題の追究	4	◎ 「白鳥」と「ライオンの堂々たる行進」を比較聴取し、楽器の音色や曲の感じに気付き、感じ取ったことを言葉に表す。	主① 対②	・ 楽器の音色、旋律の特徴などの醸し出す曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組んでいる。 【態②→発言、観察】
まとめ 第二次	5	◎ 「白鳥」と「堂々たるライオンの行進」の楽曲のよさや演奏のよさに気付いて聴く。 ・ 題材を通して学習したことを振り返って言葉でまとめる。	対③	・ 曲想とその変化や旋律の特徴など音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを感じ取っている。 【思②→発言、ノート】

5 本時の指導計画

(1) 目標

- ・ 聴き取った旋律の特徴を生かし、どのように演奏したらよいか思いや意図をもっている。【思・判・表】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
はずんだ感じとなめらかな感じの旋律の特徴の違いを生かして演奏するために、どのような表現をしたらよいか、自分なりの考えをもっている。	友達の話聞いて考えを取り入れたり、友達の表現まねしたりして、考えをもてるように支援する。

(3) 展開 (主) 主体的な学びを促す手立て・(対) 対話的な学びを促す手立て

段階	主な学習活動・学習内容	教師の支援 (◇評価)	資料等									
導入 5分	1 前時の学習を想起する。 ・ 「陽気な船長」を演奏し、聴き合う。 2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">アとイのせんりつがちがいを生かしてえんそうしよう。</div>	・ 旋律の特徴にふさわしい演奏になっているか、友達と演奏を聴き合い、課題意識につなげられるようにする。	・ CD ・ 拡大楽譜									
展開 33分	3 課題を解決する。 (1) アとイをどのように演奏すればよいか考える。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>聴き取ったことと 感じ取ったこと</td> <td>演奏の仕方</td> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>はずんでいる 楽しい 元気 ↑ ジグザグ スタッカート</td> <td>音を短く切って演奏する タンギングをはっきりする</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>流れるよう やさしい ↑ なめらか</td> <td>つなげて演奏する 優しい息使いで演奏する</td> </tr> </table> (2) アとイをそれぞれ演奏する。 ・ ペアで聴き合う。 ・ 演奏して確かめ合う。 4 まとめの演奏をする。		聴き取ったことと 感じ取ったこと	演奏の仕方	ア	はずんでいる 楽しい 元気 ↑ ジグザグ スタッカート	音を短く切って演奏する タンギングをはっきりする	イ	流れるよう やさしい ↑ なめらか	つなげて演奏する 優しい息使いで演奏する	・ 音の上がり下がりやスタッカートなど、旋律の特徴に着目させることで、どのように表現したいか考えられるようにする。 ・ どのように演奏したいか「トゥ」などの言葉やリコーダーの演奏で表すことで、様々な考えを伝え合うようにする。 ・ スタッカートのついた旋律とついていない旋律など、教師の演奏を比較聴取し、実際にリコーダーをふくことで、音の上がり下がりやスタッカートが曲の感じを出していることを実感できるようにする。 ・ 曲の感じに合った音色で演奏している児童を意図的に取り上げることで、自分の演奏に生かすことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">・ ペアで演奏を聴き合い、言葉だけでなく、歌やリコーダーの演奏で考えを伝え合うことで、実感を伴った学びへとつなげていく。(対)</div> ・ 「アは〇〇の様子を思い浮かべて楽しく演奏しよう」などと声を掛けることで、思いを込めて演奏できるようにする。	・ リコーダー
	聴き取ったことと 感じ取ったこと	演奏の仕方										
ア	はずんでいる 楽しい 元気 ↑ ジグザグ スタッカート	音を短く切って演奏する タンギングをはっきりする										
イ	流れるよう やさしい ↑ なめらか	つなげて演奏する 優しい息使いで演奏する										
まとめ 7分	5 学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">アのせんりつは、音の上がり下がり大きくあって、スタッカートがあるので、楽しく、弾んだ感じでふく。 イのせんりつは、音の上がり下がり小さいので、なめらかで優しい感じでふく。</div>	・ 本時に学んだことを旋律の特徴に着目した内容で書くことができるよう、視点を明確にして振り返ることで、学びが次につながるようにする。(主) ◇ 旋律の特徴を感じ取り、曲想にふさわしい表現について思いや意図をもっている。 【思・判・表 ノート、発言】	・ ノート									